

令和7年度 西区組織目標

組織名	西区	部長	水野 利数
組織の目的・方向性	区ビジョンの将来像「快適なくらしと、豊かな自然や食が調和する、住み心地のよいまち」の実現のため、「人と人がつながり、支え合うやさしいまち」、「安心・安全で快適に暮らせるまち」、「豊かな自然と食を楽しめるまち」、「区民が主役の活力あるまち」を目指したまちづくりをすすめていきます。		
(参考) 関連する総合計画における政策指標※	・日頃から災害に対する備えをしている市民の割合 ・新潟市は子育てしやすいまちだと思える保護者の割合 ・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数 ・道路が適切に整備・管理されていると思う市民の割合 ・地域活動に参加した経験のある市民の割合 ・新潟市の農水産物などに対してほこりや愛着を持つ市民の割合		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

西区組織目標

区の将来像の実現のため、引き続き能登半島地震からの復興を進めるとともに、豊かな自然環境や特産農産物、高度な学術機関など西区の特性を活かし、地域や大学との連携を通して、多様化する地域課題に未来を見据えて取り組み、すべての区民が安心して心豊かに暮らし、住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。

この方針のもと、今年度は、以下の目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 震災被害からの復旧復興と被災者支援を進め、安心安全なまちづくりに努めます。
- 2 環境美化活動への支援や協力を推進し、自然環境の保全を図ります。
- 3 西区特産農産物の県内外へのPRに取り組み、生産振興と地域活性化を図ります。
- 4 地域活性化を推進するため、地域と大学の交流と連携を支援します。
- 5 子どもたちの健やかな育みを応援するやさしいまちを目指します。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	5	達成数	5
取組結果	1 震災被害からの復旧復興に関しては、被災した道路や排水路の早期復旧に取り組み、年度末までの復旧工事の発注本数は道路 109 路線、排水路 3 路線、合計 112 路線となりました。なお、排水路については復旧が完了しました。 また、被災者支援の取り組みとして、被災に起因する被災者のストレスや孤立感をやわらげ、健やかな生活が送れるよう、被災者交流会を2地域で開催し、計 20 人が参加しました。加えて、被災者向けの健康相談会を2回実施し、被災者の心身の回復、不安の軽減を図りました。				

安心安全なまちづくりに向けては、ワークショップの開催等により避難所運営委員会の結成促進に取り組んだ結果、目標を上回る結成数となりました。

- 2 環境美化活動への支援では、自治会・町内会等の地域清掃活動の相談に丁寧に対応することで、多くの団体からボランティア清掃に参加していただき、参加団体数は8区の中で一番多くなりました。西区クリーン月間や海岸一斉清掃などにも多くの区民の参加があり、自然環境の保全につながりました。
- 3 農産物の生産振興と地域活性化では、G I 登録製品の「くろさき茶豆」や食と花の銘製品の「いもジェンヌ」をはじめとする西区特産農産物のさらなる認知度向上のため、農商工連携による県内外へのPRを実施しました。
また、併せて各種メディアやSNSを活用したプレゼントキャンペーンなど、話題性のある取り組みを行うことで地域活性化を図りました。
- 4 地域と大学の交流と連携については、2大学、1短期大学から提案された計5事業を採択し、区が伴走しながら大学及び学生が主体的に地域の課題や活性化策に取り組みました。また、旧北国街道沿いの酒蔵や醸造所、佐潟などの様々なコンテンツをつないで一体的に展開する令和7年度初開催の「発酵街道開」事業においては、地域と大学連携の採択事業とも連携を図りつつ、西区の新たな魅力の発信と活性化に取り組みました。
- 5 児童虐待件数が高止まりしている中、子どもたちの笑顔で健やかな育みを応援するやさしいまちを目指し、産前から乳児期、学齢期（前期）までの各期にわたる子育て支援講座を開催しました。また、妊娠期から3歳未満の子育て中の方を対象としたLINE「にしっこはぐくみLINK」で子育て情報を積極的に発信し、子育て中の親の孤独感や不安感を軽減し、健全な子育てを支援しました。その結果、LINKの新規登録は、年間目標600人を上回る639人の新たな登録がありました。

- 1 道路の復旧については、今後も関係機関等との協議を進め、調整の整ったところから工事を発注し、早期の復旧に努めます。
また、被災者支援に関しては、震災の復旧・復興の過程で、被災者が孤立感を抱えず、安心して被災のことを語れる交流の場を提供し、自立に向けて地域との交流を促します。
併せて、安心安全なまちづくりに向け、避難所運営員委員会未結成エリアを対象とした講習会開催等の支援を行い、結成の促進に努めます。
- 2 区民の環境保全やきれいなまちづくりに対する意識の向上を図るため、コミュニティ協議会や自治会・町内会などの協力を得ながら、より多くの区民から西区クリーン月間などの活動に参加してもらえよう、引き続き取り組みを進めていきます。
- 3 西区農産物の生産振興と地域活性化では、これまでの「くろさき茶豆」や「いもジェンヌ」に加えて、小玉すいかの新品種である「ルビームーン」などの特産農産物について、農商工連携協議会や各種民間とも連携しながら県内外での販促活動を実施し、認知度向上、魅力発信に取り組んでいきます。
- 4 地域と大学連携事業及び発酵街道開事業を継続しながら地域の活性化を図るとともに、学生を含む区内を中心に地域で活動する個人や団体をつなげる取り組みとして実施している Meetup!NiigataWEST2040 のスキームを活用し、西区の宝である海辺の魅力や多様なプレイヤーを整理し、今後の目指すべきビジョンをまとめます。
- 5 子どもたちの笑顔で健やかな育みを応援するため、産前から子どもの各年代に対応した子育て講座を関係機関と連携し、引き続き実施していきます。また、「にしっこはぐくみLINK」を活用した情報発信により、育児の不安や孤立感の軽減、仲間づくりに取り組んでいきます。